

令和 8 年度 協議員会

(令和 7 年11月 3 日)

亜細亜大学同窓会

青 々 会

令和 8 年度 協議員会 議事次第

令和 7 年 11 月 3 日(月・祝)
12 時 20 分～
亜細亜大学 5 号館 521 教室

司会 事務局長 宇田川 裕

1. 会長挨拶 安藝 実 青々会会長
2. 来賓挨拶 永綱 憲悟 学長
3. 青々会賞・組織活性化賞受章者 在学生4名・支部1件
4. 議長・副議長選出
5. 議 事

【審議事項】

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告・収支決算報告について

会計監査報告 会計監査 中川 常彦 氏 (税理士)

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画(案)・収支予算(案) について

第 3 号議案 青々会会則の改正について

【報告事項】

1)協議員会後の行事予定について

以上

<青々会賞の授与>

本学の在学生の諸活動により、顕著な成績や業績、社会貢献など、本学の名声を高めた学生に対し、青々会から顕彰を行うものである。

本年の対象者は、以下のとおりである。

1. 団体

対象なし

2. 個人

山城 京平 様（経営学部4年）硬式野球部
（第45回日米大学野球選手権大会日本代表選手・新人選手選択会議指名選手）

齊藤 汰直 様（経営学部4年）硬式野球部
（第45回日米大学野球選手権大会日本代表選手・新人選手選択会議指名選手）

前嶋 藍 様（経営学部3年）硬式野球部
（第45回日米大学野球選手権大会日本代表選手）

瀧澤 諒斗 様（法学部4年）サッカー部
（2025デフリンピック日本代表選手）

<組織活性化賞の表彰>

「栃木県支部女性部会は、約20年にわたり栃木県支部内において積極的かつ活発な活動を行って県内OGへの参加を促し、毎年志向をこらした「楽しいひとときをすごす会」開催は、会員より良き評価を受けております。このことは青々会発展に大きく寄与するところです。」との北関東連合会会長からの推薦により、選考基準である「支部運営において、創意工夫によって幅広い会員が気軽にでき、支部会が会員に理解され長期的に会の活発な活動を継続している」ことにより、組織活性化賞を授与し表彰するものである。

栃木県支部 女性部会「青心会」

以上

第1号議案 令和7年度事業報告・収支決算報告について (令和6年10月1日～7年9月30日)

令和7年度は、16連合会総会(前年同数)、支部総会は67支部(前年62支部)と、前年より多くの総会が開催され、支部活動が活発となった。令和7年度事業報告・収支決算について、次のとおり報告いたしたい。

<令和7年度本年度事業報告>

1. 青々会「ビジネスネットワークの集い」の開催

令和7年8月29日(金)渋谷エクセルホテル東急において、「ビジネスネットワークの集い」を開催した。卒業生69名(役員等含む)、学園関係7名、合計76名が参加し、盛会裡に終了した。本学の就職状況、求人システム紹介など、事業拡大、コスト削減、人員確保など、卒業生の課題解決の一助なるべく情報提供を行い、参加者相互の活発な情報交換が行われた。

2. ホームページ等の活用

ホームページから支部総会、青々会イベント等の情報を提供した。関東近県には、官製はがきで総会案内を送り、電話やメール、QRコードから入力フォームにて出欠を連絡する新たな方法の導入により、郵便代が削減され、迅速に出欠リストが提供された。

ホームページアクセス数：月平均約1,000件(6月1,796件)前年比35%up

アジア青々会ネットアクセス数：月平均約300件(登録会員数約400名)前年比4%up

3. 会報発行(会則第5条第1号関係事業)

令和7年6月10日に「青々会報」第121号(最終号)を発行した。

発行部数は63,554件(国内62,288件・海外1,266件)となった。

4. 定例協議員会の開催(会則第19条関係事業)

令和6年11月3日(祝)午後1時から亜細亜大学5号館521教室において、令和7年度定例協議員会を開催した。第1号議案「令和6年度事業・決算書報告」、第2号議案「令和7年度事業計画(案)・収支予算書(案)」について審議し、原案通り承認された。出席者117名。

5. 幹事会の開催(会則第22条関係事業)

令和6年11月3日 令和7年度第1回幹事会 出席者45名

令和7年3月25日 令和7年度第2回幹事会 出席者30名

令和7年6月20日 令和7年度第3回幹事会 出席者26名

令和7年9月24日 令和7年度第4回幹事会 出席者26名

以上、令和7年度幹事会は、青々会館会議室で開催した。

6. 会議・会合の開催(会則第5条第2号関係事業)

1) 三役会の開催

令和6年11月3日・令和7年3月25日・6月20日・9月24日の4回開催し、事業の進捗状況の確認及び意見交換を行った。

2) 学園幹部とのコミュニケーションの促進

事務局長、総務部長、学生部長と同窓会事業、学園寄付行為の変更等について、情報交換を行った。

7. 興亜神社例祭の挙行

令和6年11月3日(祝)午後3時から、母校キャンパス内に建立の「興亜神社」において、大学と共催で戦没校友の御霊を祀る興亜神社の例祭を挙行した。

8. 第31回「ホームカミング・デイ」の開催

令和6年11月3日(祝)午後4時から、武蔵野キャンパスASIA PLAZA4階ホールで「ホームカミング・デイ」を大学と共催した。会員278名、家族19名の297名が参加した。

9. 「新春の集い」の開催

令和7年1月24日(金)午後6時30分から、吉祥寺東急REIホテルにて、平成2年度卒の実行委員の協力で開催した。

母校から学長、副学長はじめ学園幹部の方々及び在学生の学友会執行部、青々会奨学金受給者等を含め、総勢126名が参加した。

10. 連合会・支部活動への協力(会則5条第5号関係事業)

1) 連合会・支部総会開催への協力

①16連合会、67支部で総会を開催した。(案内はがき発送約7万通・返信約7千通)

②連合会総会には、大学及び青々会からお祝金の贈呈、会長、副会長等役員が出席し、大学から学長、副学長、幹部職員の出席があり、総会参加会員との交流を図った。

③支部総会には、青々会からのお祝金の贈呈、本部より三役が出席して青々会並びに大学の近況報告を行い、総会出席の会員との交流を図った。

2) 海外支部活動の協力

今年度は、8月28日にマレーシア支部総会を開催し、本学から出張した教職員含め10名の参加者があった。

11. 在学生活動の支援

1) 青々会奨学金

大学から推薦された学部学生27名に授与した。

2) 在学生諸活動の援助

学友会、体育会関係の全国大会出場、強化合宿等の支援のため、10件(370千円)の援助を行った。

3) 青々会賞の授与

◎自動車部 関東学生対抗軽自働車6時間耐久レース 学生一般の部 優勝

※団体の授与は1クラブで、個人の授与対象はなし。

12. 組織活性化賞

今年度の対象はなし。

13. 在校生応援活動

- 1)硬式野球部応援活動 東都大学野球春・秋リーグの応援
- 2)陸上競技部応援活動 箱根駅伝予選会応援
- 3)女子陸上競技部 全日本女子駅伝、富士山駅伝の応援

14. 会員自主活動の協力(会則第5条第4号関係事業)

- 1)会員及び支部からの問合せ・相談等の対応 問合せ件数は月10~15件
- 2)クラブOB会、ゼミOB会、寮関係OB会名簿及び宛名シール作成対応

15. 事務局関係(会則第5条第4号関係事業)

1)情報収集

今年度も地方支部状況及び大学の対応等情報収集を図り、役員及び会員からの問合せ対応を丁寧に行った。大学情報についても、ホームページから迅速な発信を行った。

2)会員データ管理

- ①過去データの修正及び令和6年度卒業生1,458名の住所、就職先及びクラブ、ゼミコード等のデータ入力業務の実施。
- ②会報、総会案内送付後に戻ってきた宛名不明者約1,000件の追跡調査を実施し、正確な会員情報の把握に努めた。

3)事業実施に伴う経費の削減への取り組み

4)幹事会、協議員会及び三役会の会議資料作成、会場準備の実施。

5)情報セキュリティに配慮し、会員情報の機密性や安全性を踏まえた取扱いを行った。

<令和7年度収支決算報告>

令和7年度収支決算は、別紙「令和7年度収支決算書」に記載のとおりであり、収支決算の概要は次のとおりである。なお、「貸借対照表」、「預金残高一覧表」「監査報告書」も別紙に掲載している。

・収入計 : 34,140千円(前年32,691千円 4.4%up)

・支出計 : 46,170千円(前年38,906千円 18.7%up)

・収支計 : △12,031千円(前年6,216千円から5,815千円支出増)

※支出増要因 : 総会開催増、事務局長退職金支払、BN2回分支払等の支出増加

以上

<別紙>

令和7年度 収支決算書

(自令和6年10月1日～至令和7年9月30日)

(単位:円)

科 目	令和7年度 予 算 額	令和7年度 決 算 額	差 異	摘 要 (決算説明)
-----	----------------	----------------	-----	------------

【 収 入 の 部 】

会 費 収 入	32,580,000	32,952,000	372,000	
当年度会費	31,580,000	31,580,000	0	令和6年度終身会費振替
過年度会費	0	0	0	
特 定 会 費	1,000,000	1,372,000	372,000	新春467千円+R6ビジネス385千円+R7ビジネス370千円
業 務 委 託 料	1,000,000	1,000,000	0	亜細亜学園業務受託
受 取 利 息	20,000	187,513	167,513	
寄 付 金 収 入	0	0	0	
当期収入合計	33,600,000	34,139,513	539,513	
前年度繰越金	45,731,144	45,731,144	0	
収 入 合 計	79,331,144	79,870,657	539,513	

【 支 出 の 部 】

人 件 費	8,850,000	11,697,180	△ 2,847,180	
給 与	8,400,000	8,748,900	△ 348,900	パート時間給(900円→1,170円)30%アップ
通 勤 手 当	450,000	409,840	40,160	通勤定期2名分
退 職 金	0	2,538,440	△ 2,538,440	6/30事務局長退任
消 耗 品 費	20,000	46,393	△ 26,393	事務用品購入
印 刷 費	400,000	0	400,000	
通 信 費	400,000	330,831	69,169	前年実績同様(郵便は事務関係)
交 通 費	2,950,000	2,868,230	81,770	全連合会・支部総会出張旅費パック料金利用
賃 借 費	40,000	38,940	1,060	総会案内葉書印刷機年間リース代
会 報 費	6,800,000	6,750,528	49,472	07.06に121号発行
印 刷 費	1,300,000	1,256,475	43,525	8ページで編集
会報発送費	5,500,000	5,494,053	5,947	63,000発送予定→62,174通発送
奨 学 費	2,700,000	2,700,000	0	100,000×27名
補 助 費	1,000,000	370,000	630,000	青々会賞1件他学友会団体等補助
援 助 費	10,400,000	13,481,144	△ 3,081,144	
支 部 援 助 費	9,700,000	12,581,144	△ 2,881,144	全支部総会開催案内印刷、送付、お祝金、参加費増
連 合 会 援 助 費	700,000	900,000	△ 200,000	全連合会開催お祝金
行 事 費	200,000	181,152	18,848	興亜神社例祭お土産・銅像生花
会 合 費	3,750,000	4,470,295	△ 720,295	
総 会 費	0	0	0	
会 合 費	2,750,000	3,633,545	△ 883,545	新春1,385千円・ビジネス844+924千円・幹事会他480
会 議 費	1,000,000	836,750	163,250	ホームカミング・デイ折半負担
ホ ー ム ペ ー ジ 費	3,100,000	3,088,800	11,200	ホームページ・掲示板運営管理
雑 費	200,000	146,757	53,243	慶弔関係、振込手数料22千円増
備 品 費	10,000	0	10,000	予備計上
当期支出合計	40,820,000	46,170,250	△ 5,350,250	
当期収支差額	△ 7,220,000	△ 12,030,737	△ 4,810,737	
次年度繰越金	38,511,144	33,700,407	△ 4,810,737	

- (注記)
1. 決算額に対する予算額の増・減(△)記号。
 2. 経理規程第25条に則り、事業部門の予算を流用することができる。

<別紙>

貸借対照表

(令和7年9月30日現在)

借 方				貸 方			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産	35,500,254	47,669,684	△ 12,169,430	流動負債	76,064	69,090	6,974
現金	159,240	161,323	△ 2,083	預り金	76,064	69,090	6,974
預金	35,341,014	47,508,361	△ 12,167,347				
固定資産	237,749,881	245,469,214	△ 7,719,333	固定負債	83,622,476	91,487,476	△ 7,865,000
備品	3,679,510	3,679,510	0	前受金	83,622,476	91,487,476	△ 7,865,000
電話加入権	188,984	188,984	0	令和7年度卒会費	(31,460,000)	(31,580,000)	63,040,000
基本財産引当資産	100,000,000	100,000,000	0	令和8年度卒会費	(25,810,000)	(23,730,000)	49,540,000
奨学金引当資産	50,000,000	50,000,000	0	令和9年度卒会費	(15,270,000)	(17,420,000)	32,690,000
前受金引当資産	83,881,387	91,600,720	△ 7,719,333	令和10年度卒会費	0	(7,675,000)	7,675,000
				過年度会費	(11,082,476)	(11,082,476)	22,164,952
				負債計	83,698,540	91,556,566	△ 7,858,026
				【基本金・剰余金の部】			
				基本金	153,868,494	153,868,494	0
				基本財産基金	100,000,000	100,000,000	0
				奨学基金	50,000,000	50,000,000	0
				一般基金	3,868,494	3,868,494	0
				剰余金	35,683,101	47,713,838	△ 12,030,737
				前年度繰越剰余金	47,713,838	53,929,684	△ 6,215,846
				当年度剰余金	△ 12,030,737	△ 6,215,846	△ 5,814,891
				資本・剰余金計	189,551,595	201,582,332	△ 12,030,737
合 計	273,250,135	293,138,898	△ 19,888,763	合 計	273,250,135	293,138,898	△ 19,888,763

(注記) △は、前年度末に対する減記号。

<別紙>

預金残高一覧表

(令和7年9月30日現在)

預金種別	銀行名	支店名	口座名義	科目	預金残高	摘要
普通預金	三菱UFJ銀行	武蔵境	会長 安藝 実	運用資金	6,728,299	
	三菱UFJ銀行	武蔵境	会長 安藝 実	前受金引当資産	23,881,387	
定期預金	三菱UFJ銀行	武蔵境	会長 安藝 実	奨学金引当資産	50,000,000	
	三菱UFJ銀行	武蔵境	会長 安藝 実	前受金引当資産	60,000,000	
				定期小計	110,000,000	
				小計	140,609,686	

普通預金	西武信用金庫	武蔵境	会長 安藝 実	運用資金	8,612,715	
定期預金	西武信用金庫	武蔵境	会長 安藝 実	基本財産引当資産	50,000,000	定期預金証書
	西武信用金庫	武蔵境	会長 安藝 実	基本財産引当資産	50,000,000	定期預金証書
	西武信用金庫	武蔵境	会長 安藝 実	繰越剰余金(定期)	20,000,000	定期預金証書
				小計	128,612,715	

合計					269,222,401	
----	--	--	--	--	-------------	--

<別紙>

亜細亜大学同窓会 青々会

会長 安藝 実 殿

膳本

監査報告書

亜細亜大学同窓会 青々会の令和7年度(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)における一般会計並びに特別会計について、監査を行いました。

この監査に当っては、一般の公正妥当と認められる監査基準に準拠し、必要な監査手続きを実施しました。

監査の結果、上記の計算書類は適正に処理されており、本会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

令和7年10月23日

会計監査

佐藤健次

会計監査

中川常彦

第2号議案 令和8年度事業計画(案)・収支予算(案)について (令和7年10月1日～令和8年9月30日)

以下の事業運営の基本方針に基づき、令和8年度事業計画(案)をとおり提案いたしたい。

<本年度事業運営の基本方針>

- (1) 青々会会員ネットワークの拡大への取り組み
 - ・「ビジネスネットワークの集い」継続開催による会員ビジネスパーソンの参画促進
 - ・在学生対象のキャリアイベントへの参加協力による就職支援
 - ・新たな会員連携を組織化する支援
- (2) ホームページの充実と SNS の活用
 - ・ホームページ、交流サイト「アジア青々会ネット」のリニューアルによる情報提供の充実
 - ・SNS アカウント作成によるリアルタイムの情報提供
- (3) 支部組織活性化に向けての取り組み
 - ・連合会・支部の再編の検討(継続課題)
 - ・支部活動へ若手会員参加を誘導する企画の考案
- (4) 大学との協力体制の強化
 - ・学生部他、大学各部署との連携強化による同窓会活動の拡充

<令和8年度事業計画(案)>

1. 青々会ネットワークの取り組み

会員ネットワークの連携強化を図り、さらに親睦を深め、相互の発展を図る取組を推進する。

1) 「ビジネスネットワークの集い」の継続開催

SNS等を活用して、広く開催案内を送って参加者を増加させ、勤務する業界等のグループ作りを支援する企画等を盛り込んで、令和8年9月に渋谷エクセルホテル東急で開催する。

2) 就職支援イベントの共催

大学キャリアセンター主催のイベントに卒業生が多く参加できるよう工夫を行い、就職支援の場面で青々会の存在感を高める。

3) 新たな会員ネットワークの構築

卒業生の現住所を基本とした支部構成のほか、出身地、出身高校、所属ゼミ・クラブ、勤務業界や業務経験などを共通とする横断的な組織が設置できるよう準備を行う。

2. ホームページの充実

1) ホームページのリニューアル

青々会事務局からの総会開催案内、各支部からの支部総会開催概要等の情報について、迅速に情報を配信するとともに、記事へのアクセスが簡便になるようホームページを改修する。

2) 交流サイト「アジア青々会ネット」のリニューアル

卒業生数名のインタビュー記事や卒業生が経営・勤務する店舗等の紹介ページ等を新たに構成する。この情報発信に連動して、更新された情報を迅速に会員に通知できるよう青々会 SNS アカウントを作成して、青々会をより身近に感じることができるよう環境を整備する。

3. 会報発行(会則第 5 条第 1 号関係事業)

昨年度「青々会報」第121号の発行をもって、既存の形態での会報発行は終刊したため、新たなスタイルで令和 8 年 6 月に発行をする。紙媒体での送付はアンケートによる送付希望者に限定するものの、支部総会で参加者に紙媒体の配付を想定している。その他、PDF電子ファイルをホームページからダウンロードできることや画面で記事が購読できる環境を整える。

4. 定例協議員会の開催(会則第 19 条関係事業)

令和 8 年度定例協議員会を開催する。

開催日：令和 7 年 11 月 3 日(月・祝)12 時 20 分～

会場：亜細亜大学 5 号館521教室

5. 幹事会の開催予定(会則第 22 条関係事業)

開催予定：令和 7 年 11 月 3 日、令和 8 年 3 月、6 月、9 月の 4 回開催する。

6. 会議・会合の開催(会則第 5 条第 2 号関係事業)

1) 三役会の開催

執行部の連絡協議体として幹事会開催時の定例開催のほか必要に応じて開催する。

2) 大学幹部とのコミュニケーションの促進

大学と青々会との業務分担、相互協力のため、必要に応じて情報交換を行う。

7. 興亜神社例祭の挙行

大学との共催による戦没校友の御霊を祀る興亜神社例祭を挙行する。

開催日：令和 7 年 11 月 3 日(祝)：午後 3 時～午後 3 時 30 分

場所：興亜神社境内

8. 令和 7 年「ホームカミング・デイ」の開催

年に一度、武蔵野キャンパスに世代を超えて卒業生が集い、会員相互の交流を深め、大学の現状を知り、今後の同窓会活動の発展に繋げるという趣旨で、大学と共催で実施する。

会場：ASIA PLAZA 日時：令和 7 年 11 月 3 日(月・祝)午後 4 時～ 会費：2,000 円

9. 「新春の集い」の開催

今年度は、「吉祥寺エクセルホテル東急」(旧第一ホテル)で次の日程での開催と、準備にかかる実行委員は平成 3 年度卒の卒業生にお願いする予定。

開催日：令和 8 年1月 30 日(金) 午後 6 時 30 分～

会費：男性 8,000円 女性5,000円を予定

10. 連合会・支部活動への協力(会則 5 条第 5 号関係事業)

1) 若手会員参加への支援

事務局の管理下にある会員情報と、大学キャリアセンターの在学生・卒業生情報を活用して、新卒学生や転職する社会人への地元就職の支援を行い、合わせて支部活動を紹介して、今後の活動参加を促す。新卒生向けに青々会記念品を贈呈し、青々会の存在を知らしめる。

2) 連合会・支部総会開催への支援

・連合会・支部総会開催における案内状作成及び発送、出欠確認の業務は、関東近県の一

部実施の「官製はがき」(片道)での案内に順次移行する。現状の別納往復はがきはコストが高く、会員にとってより合理的な方法として、電話、メール、QRコードでの受付(事務局)とし、合わせて経費削減を図る。これにより、支部総会参加者に青々会記念品を用意する。
・今年度も連合会総会には本部からは会長または三役、大学からは学長または副学長及び大学幹部が出席、支部総会には、本部から役員等が出席する。

3)海外支部活動への支援

外国人留学生であった会員と連携・協力関係を維持、発展させるため、海外支部総会を通して交流を図り、今後も多くの外国人が本学に留学できるよう情報提供等の支援をする。

11. 在学生活動の支援

1)青々会奨学金

青々会奨学金は、各学部で優秀な成績を修め、大学から推薦された学生に1人10万円の奨学金を授与する。各学科2年生以上で各学年2名、都市創造学部(社会学部)は2年次以上で各学年1名に授与予定。

2)在学学生諸活動の援助

在学学生の学友会、県人会連合会、アジア祭、文連祭、クラブ活動及びボランティア活動等に対して、本年度も継続して援助を実施する。

3)青々会賞授与

大学の名声を高めた在学学生の個人または団体に対し「青々会賞授与基準」に則り青々会賞の授与を行う。毎年11月3日の協議員会の席上で授与する。

4)学友会執行部との交流

幹事会開催後の懇親会の場を通して、学友会執行部と青々会役員、幹事との交流を図り、青々会活動の理解を深める。

12. 組織活性化

1)大学と連携を取り共同歩調で、連合会・支部活性化に向けて、支部再編成等(継続課題)の諸対応をする。

2)情報セキュリティに関する取組み

大学の情報セキュリティ基準に沿った情報管理に十分配慮し、会員情報の運用を行う。

3)連合会長・支部長会議

毎年11月3日に連合会長・支部長会議を開催し、本部・連合会・支部間の情報交換等により、相互の協力関係の強化を図る。

4)活性化に貢献した支部及び個人の表彰

組織活性化表彰基準に則り支部及び個人の表彰を実施する。

13. 在校生応援活動への支援

学友会各団体、硬式野球部、陸上競技部他体育会各団体の全国大会出場時の支援を含む応援活動を実施する。

14. 会員自主活動の協力(会則第5条第4号関係事業)

1)会員及び支部役員からの問合せ・相談等の対応

2)会員の大学内見学の支援

3)クラブOB会、ゼミOB会、寮関係OB会支援

在学生から提出されるクラブ、ゼミ及び寮関係のOB名簿により修正作業を行うとともに、
会合開催の支援とし「名簿印字、宛名シール印字」などを行う。

15. 事務局関係(会則第 5 条第 4 号関係事業)

1) 事業運営の合理化推進

幹事会、協議員会等会議体の運営及び事業実施経費の予算を合理的に活用し、経費を削減する。また、インターネットを使った入出金、振込に順次移行する。

2) 日常業務や事業実施の全般で大学事務局と連携

青々会事務局と大学学生部他各部署と定期的に会合を実施し、青々会の存在と同窓会業務への理解を促し、連携を進める。

3) 会員転居先不明者追跡調査の継続

会報の不達や支部総会案内状送付の宛先不明での返送分は、年間約 1,000 件前後であり、返送されてきた宛先不明者について調査を実施し、正確な会員情報の把握に努める。

4) 新会員ほか会員情報の収集

令和7年度卒業生の住所、就職先、ゼミ・クラブコード、メールアドレス、SNS等のデータ入力のほか、電子媒体での迅速な情報伝達を行うため、メールアドレス、SNSアカウントを機会あるごとに収集する。

<令和 8 年度収支予算(案)>

令和 8 年収支予算(案)は、別紙「令和 8 年度収支予算書(案)」に記載のとおりであり、令和 8 年度事業を推進するにあたり、収支予算案を提案いたしたい。

なお、収支予算(案)の概要は以下のとおりである。

- ・収入計 : 33,646 千円(前年決算比△494千円 1.4%減)
- ・支出計 : 52,422 千円(前年決算比 6,251 千円 14.2%増)
- ・収支計 : △18,776 千円(前年決算比 6,745 千円支出超過増)

※支出増要因 : 総会開催増、退職金2期支払、HP 改修、記念品購入等の支出増加

以上

<別紙>

令和8年度 収支予算書 (案)

(自令和7年10月1日～至令和8年9月30日)

(単位:円)

科 目	令和8年度 予 算 額	令和7年度 決 算 額	差 異	摘 要 (予算内容)
-----	----------------	----------------	-----	------------

【 収 入 の 部 】

会 費 収 入	32,460,000	32,952,000	△ 492,000	
当年度会費	31,460,000	31,580,000	△ 120,000	令和7年度卒業生終身会費振替
過年度会費			0	
特定会費	1,000,000	1,372,000	△ 372,000	新春615千円・ビジネス385千円
業務委託料	1,000,000	1,000,000	0	
受取利息	186,000	187,513	△ 1,513	
寄付金収入	0	0	0	
当期収入合計	33,646,000	34,139,513	△ 493,513	
前年度繰越金	33,700,407	45,731,144	△ 12,030,737	
収入合計	67,346,407	79,870,657	△ 12,524,250	

【 支 出 の 部 】

人 件 費	11,800,000	11,697,180	102,820	
給 与	8,900,000	8,748,900	151,100	パート時間給5%アップ
通勤手当	400,000	409,840	△ 9,840	通勤定期2名
退職金	2,500,000	2,538,440	△ 38,440	前年度6/30事務局長退任(半額分)
消耗品費	50,000	46,393	3,607	事務用品購入
印刷費	200,000	0	200,000	青々会封筒等印刷
通信費	350,000	330,831	19,169	前年実績(事務関係郵便等)
交通費	2,950,000	2,868,230	81,770	全連合会・支部総会開催旅費バック料金増加
賃借費	450,000	38,940	411,060	案内葉書印刷機更新 年間リース代
会報費	2,300,000	6,750,528	△ 4,450,528	7月に122号発行
印刷費	2,000,000	1,256,475	743,525	新スタイル8ページで発行
会報発送費	300,000	5,494,053	△ 5,194,053	3,000件発送予定
奨学費	2,700,000	2,700,000	0	学部生27名
補助費	700,000	370,000	330,000	青々会賞5件他学友会等補助
援助費	20,000,000	13,481,144	6,518,856	
支部援助費	19,000,000	12,581,144	6,418,856	総会開催案内印刷・送付、お祝金、参加記念品等
連合会援助費	1,000,000	900,000	100,000	お祝金等
行事費	200,000	181,152	18,848	興亜神社例祭お土産・銅像生花
会費	3,500,000	4,470,295	△ 970,295	
總會費	0	0	0	
会合費	2,500,000	3,633,545	△ 1,133,545	新春1,400千円・ビジネス800千円・幹事会他300千円
会議費	1,000,000	836,750	163,250	ホームカミング・デイ折半負担
ホームページ費	7,000,000	3,088,800	3,911,200	ホームページ・掲示板更新費・運営管理費等
雑費	171,500	146,757	24,743	振込手数料等増加
備品費	50,000	0	50,000	予備計上
当期支出合計	52,421,500	46,170,250	6,251,250	
当期収支差額	△ 18,775,500	△ 12,030,737	△ 6,744,763	
次年度繰越金	14,924,907	33,700,407	△ 18,775,500	

- (注記) 1. 決算額に対する予算額の増・減(△)記号。
 2. 経理規程第25条に則り、事業部門の予算を流用することがある。

第3号議案 青々会会則等の改正について

令和7年4月入学生以降の会費改定や、亜細亜学園寄附行為変更への対応及び軽微な文言修正等のため、青々会会則を改正いたしたい。

なお、この改正案は、令和7年度第4回幹事会で審議、了承されている。

<青々会会則の改正>

第2条 …8階青々会会館… → …8階青々会館…

第4条 …亜細亜学園寄附行為の規程に基づき…

→ …学校法人亜細亜学園寄附行為に定める…

…学校法人亜細亜学園評議員候補を推薦する。

→ …評議員の候補者を推薦する。

第6条 (3)賛助会員 …援助協力したもので… → …援助協力した者で…

第11条 …但し、重任を… → ただし、重任を…

…但し、任期満了と… → ただし、任期満了と…

第23条 ~~幹事会は組織委員会、企画委員会、広報出版委員会、財務委員会、国際交流委員会、その他必要に応じ特別委員会を置くことができる。各委員会の委員長は、幹事会の議を経て会長が任命する。各委員会に関する規程は別に定める。~~

→幹事会は、必要に応じ特別委員会を設けることができる。特別委員会の委員長及び委員は、幹事会の議を経て会長が任命する。各委員会に関する規程は別に定める。

第25条 …収入を以てあてる。 → …収入をもってあてる。

第26条 本会の会費は、終身会費として20,000円を徴収する。

→本会の会費は、終身会費として徴収する。

会費に関する規程は別に定める。

→会費額は、別表1に定め、会費に関する規程は別に定める。

追加:別表1(第26条関係)

<青々会 終身会費徴収方法>

(円)

入学年度	1年生	2年生	3年生	4年生	会費合計
2024年度まで	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000
2025年度以降				30,000	30,000

・2024年度までの入学生は、毎学年春学期の学費納入時に、同窓会終身会費積立金として4回に分割して徴収する。

・2025年度以降の入学生は、4年生春学期の学費納入時に同窓会終身会費として一括で徴収する。

※別添資料:新旧対照表・青々会会則改正案

※会則の改正は、会則第33条に本会則の改廃は、協議員会において行うことが定められている。

以上